

生涯学習 がんばっています!

親子パン教室に参加したなかよしな2人の女の子。iPad教室に参加して新たな発見ができた女性。

今回は生涯学習講座の「親子パン教室」と、「iPad教室」に参加された方の声を紹介します。

親子パン教室

あざのまりな
浅野莉那さん

わたしはパンを作るのははじめてのけいけんでした。パンを作るには、いろいろな材料を使います。強力粉・砂糖・イースト・たまご・バターなどいつも食べているパンには、こんなにたくさん材料が入っていたんだとビックリしました。しかも、作り方をまちがえてしまうとおいしいパンができません。材料をまぜて、しっかりとこねて、生地を伸ばして丸めて発酵できます。そして濡れ布巾をかけて少しおきます。今日は、犬とくまの形のパンを作ったのですが、顔を作ったり胴体を作ったりする時にも使っていない生地には乾燥やむだな発酵をふせぐために布巾をかけたまま作ります。やつとオーブンに入れた時には楽しみすぎて、焼きあがるまで時間が長かんじました。できあがったパンはお父さんと妹にもプレゼントしました。とってもおいしくできたので家でもチャレンジしてみたいと思います。おじいさんやおばあさんにも食べさせてあげたいと思いました。

かわらゆき
河村和奏さん

わたしは、お母さんといっしょに親子パン教室に参加しました。まず、たまごさとうとこななど、それからしおとイーストという菌をまぜました。そこで先生が、「イースト菌を入れないと、パンがふくらまないよ。」と言いました。わたしは知りませんでした。

わたしはお母さんとソーセージをくわえたワンちゃんパンとソーセージをだきしめたくまちゃんパン、それから自分たちで考えたピカチュウパンを作りました。家に帰ってから妹とお母さんとわたしで食べました。とてもおいしかったです。こんどは妹と作ってみました。



シニアのためのiPad講座に参加して

こいね
小出 千香子さん

生きがいタウンの講座で、iPad講座を見て、私はiPadは持つておりませんが、是非やってみたく参加出来ればと思い、申し込みをしました。四日間の講座でしたので、出来る心配をしておりましたが、講座の先生方は優しく親切に教えて下さり、初心者でも分かりやすく受講することが出来ました。iPadには様々な機能があり、TVを見たり、本を読んだり、料理のアプリを見て、料理をする。そしてマップを使って自分の位置から旅先への情報をえたり様々な事がこの小さな一つの機械の中に情報が得られるのも不思議で、これからの世の中には、iPadが必要ない時代になつてきました。私が最も驚いた事は、Sirri（AI人口知能）で物事を行う行為が出来た事、これからはドアは鍵が無くてドアが開けたり閉めたり、買物一つでもこの様な操作が出来た時代になつてゆく事が、ただ驚きの思いです。四日目の最終日には、写真を撮る講座で自分の顔をカメラの写す事の驚き、あまりにも性能の良さに驚いてしまいました。そして、動画を撮る事で便利な活用も出来ると思ひ実践してみたくなりました。四回の講座では説明できない程、色々な機能があるとの事でした。又、次回にも講座があれば是非参加してみたいと思ひ、楽しい四日間でした。

キッズレポート

たのしいあみもの
折野 ほたる

どうして編み物を選んだかと言うと、いろんな物を編みたかったからです。始めた時は、編み方も分からなかったし、名前も分かりませんでした。お母さんは、小学校の時クラブで編み物をやっていました。なのでお母さんは、ちよつとは覚えていたので、お母さんが知っている編み方や名前を、ちよつと教えてもらいました。

一年目は、ポケットティッシュカバーと、ニットキャップを作りました。ポケットティッシュカバーでは、松編みと言う編み方を初めて覚えました。ニットキャップでは、ボンポンを付けました。そのボンポンは、ニットキャップのどこにも付けていいので、私は横に付けました。かぶつてみたらかわいかったです。二年目は、ネックウオーマーと、コースターを作りました。ネックウオーマーでは、もようで編みました。もようは先生に、教えてもらいました。コースターでは、ピコットという編み方を初めて覚えました。ネックウオーマーとコースターの復習にうさぎの人形とアクセサリーを作りました。そして三年目になった今は、前回とちよつとちがったコースターを作っています。これからは、ちよつとがんばりたいです。

